



2023 年 7 月 21 日

福岡県久留米市田主丸町での緊急支援活動にご協力いただいた皆様へ

お礼とご報告

前略 平素よりお世話になっております。2023 年 7 月 10 日に発生した土石流及び河川氾濫に伴う洪水により福岡県久留米市田主丸町では大規模水害が発生しました。特定営利活動法人ピースプロジェクトは認定 NPO 法人 A A R ジャパンと共同で緊急支援活動を開始しました。

ここにご協力いただきました皆様へのお礼とともに今回の活動内容をご報告させていただきます。

草々

- 【活動期間】 2023 年 7 月 13 日～19 日（7 日間）
- 【活動場所】 竹野小学校 福岡県久留米市田主丸町竹野 1 8 2 3 - 1
- 【活動内容】 上記期間における緊急支援活動として、昼食、夕食の提供と物資配布
- 【受益者数】 上記期間において、2,030 名
- 【活動内容】 別表のとおり

活動期間中に東北の秋田県でも大洪水被害が発生し、活動の方向性を問われるシーンもありましたが、ピースプロジェクトとして、ここ久留米市田主丸町での活動に神経を集中し、トラブルなく活動を終わることができました。これもひとえにご協力いただきました皆様のお力添えによるものと考えております。

ご協力いただきましたボランティアの皆様、ご寄付いただきました皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

特定営利活動法人ピースプロジェクト

理事長 加藤 勉

東京都千代田区岩本町 2 - 1 - 1 5

JMF ビル神田 0 1 2 階

0 3 - 5 8 2 3 - 0 0 3 5

<https://www.peace-project.net/>

<https://www.facebook.com/peaceproject1004/>





【活動一覧】

日付	提供	メニュー 1	提供数	メニュー 2	提供数	配布物	提供数	ボランティア数	スタッフ 数	受益者数
7/13	昼食									
	夕食			豚汁	180			1	1	180
7/14	昼食					タオル	30		1	30
	夕食	牛丼	170	牛皿	30			6	3	200
7/15	昼食	素麺	70					4	3	70
	夕食	生姜焼き弁当	200	生姜焼き	30			5	4	230
7/16	昼食	お蕎麦	100					4	4	100
	夕食	煮込みハンバー グ弁当	260					5	4	260
7/17	昼食	素麺	100					4	3	100
	夕食	チャーハン風ご 飯、水餃子	250					4	3	250
7/18	昼食	茶そば	60					3	3	60
	夕食	とうもろこしご 飯 ミネストローネ	250					4	3	250
7/19	昼食	茶そば	30	素麺	30			2	3	60
	夕食	うな丼	240					2	3	240
	合計		合計							2,030



活動初日 7月13日（木）

前日に久留米入りしたAARジャパン職員でピースプロジェクトメンバーである大原真一郎が、活動拠点となる竹野小学校を訪問、久留米市協働推進部柴尾次長と面談、炊き出し場所として体育館と校舎の渡り廊下を設定していただきました。

本来、この地区は『レッドゾーン』すなわち、土砂崩れが発生すると直撃される可能性が高く、非常事態では立ち入り禁止となる地域です。

私たちとしては、衛生的な炊き出しを行いたいので、校舎内の給食室

あるいは50メートルほど上にあるコミュニティセンターでの炊き出し現

場の確保をお願いしましたが、上記のような理由によって屋外ではありますが、安全な場所として渡り廊下での炊き出し活動を行うことにしました。



【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：夕食として豚汁

提供数：180食





活動2日目、7月14日（金）

この日に、東京から加藤、矢沢が、同じく東京からAARジャパン理事の谷川真理さん（マラソンランナー）が、ピースプロジェクトメンバーの森力也さんが仙台から、増田賢三さんが熊本から現地入りしてくれました。谷川さんは小学校の同級生の船村真弓さんと一緒に活動に参加していただきました。

現地到着後、竹野地区の被害状況を視察しましたが、土砂災害でも特に大型の岩が至るところに転がっていて、被害の凄まじさを語っていました。

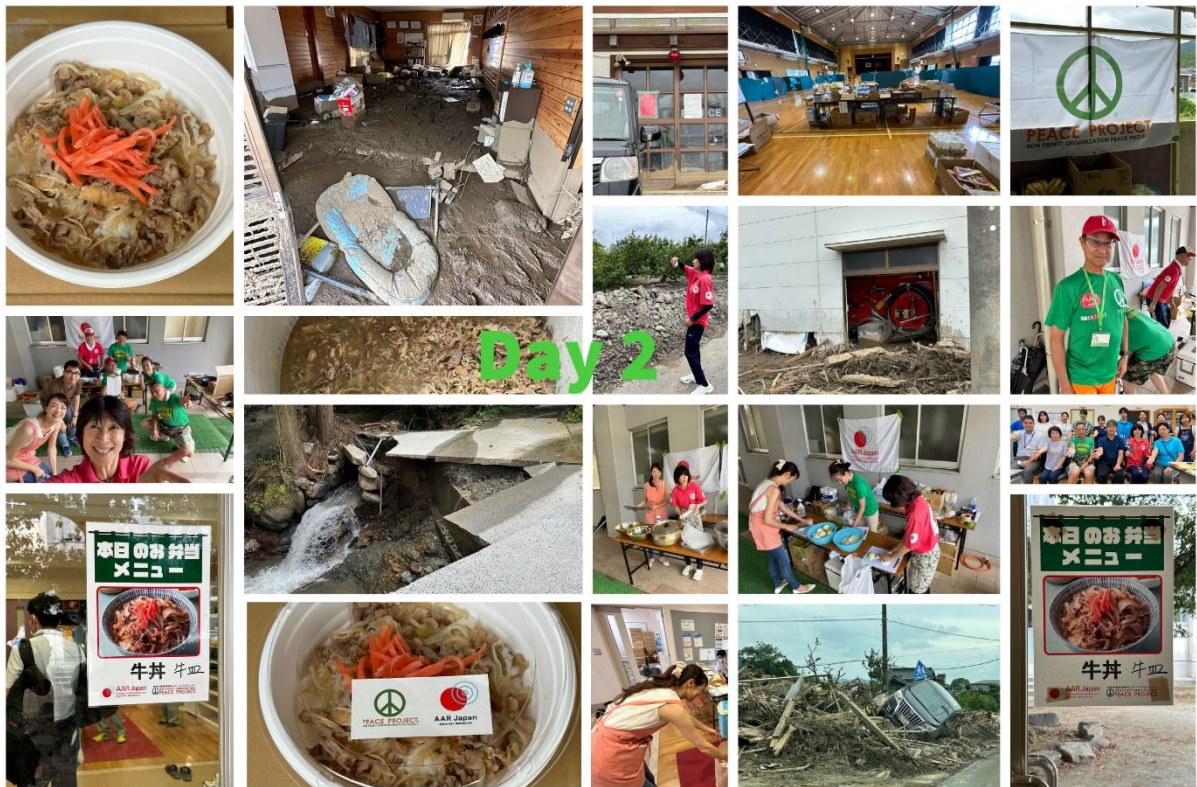
午後からは地元久留米市の市議会議員石田しんいちろうさんにもご参加いただき、炊き出し活動を行いました。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：夕食として牛丼と牛皿

提供数：牛丼170食、牛皿30食





活動3日目、7月15日（土）

この日は、朝から加藤の友人である木山龍泰さんがご友人3人を連れてお手伝いに駆けつけてくれました。この日から昼食と夕食の提供を開始、昼食にはのどごしの良い素麺やお蕎麦を提供することにしました。夕食はピースプロジェクトらしく、温かく、野菜がたっぷり入った栄養満点なお弁当屋お惣菜を提供することにし、この日は得意の『しょうが焼き弁当（しょうが焼き、ナムル、枝豆、コーン添え）』でした。

当日の活動メンバーは、ピースプロジェクト加藤、矢沢、森、増田、AARジャパン大原、谷川、ボランティアは木山さんとご友人の計4名、夕方から地元市議会議員の山崎ケブンさんにもご参加いただきました。

猛暑かと思うと、激しい雨の降る一日でしたが、夕方『一麦寮』に食事を届ける際にきれいな虹が姿を見せてくれたのがとても印象的でした。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：昼食に素麺、夕食生姜焼き弁当

提供数：素麺70食、しょうが焼き弁当200食、しょうが焼き単品30食





活動4日目、7月16日（日）

昨日とは打って変わって今日は晴天、猛暑日となりました。

そんなお天気で家の片付けをして、昼食を取りに戻ってくる方たち。昨日のお素麺を出しながらお話を伺ったところ、支給されているおにぎりやパンは「到底食べたいと思えなくて」とのお話でした。それで4日目も昼食は連日麺になるけれども、お蕎麦を提供しました。

幸い炊き出し場所の水は出るので、麺を茹でて洗って氷でキンキンに冷えためんつゆを用意することが出来ます。

夕食は煮込みハンバーグ。今回の炊き出しエリアはご高齢者も多いし、小さなお子さまがいるファミリー世代も多いこと、炊き出し前に和食弁当が続いていることをチェックしての、メニュー決めです。

今日は連日お手伝いいただいているマラソンランナー谷川真理子さんのご親戚、幼馴染みの方々や、告知をみて駆けつけてくれたボラさんが4名、ピース5名、の、9名体制で下ごしらえもとてもスムーズに終わりました。

寸胴鍋で作るのが考慮外で底から混ぜると一部ハンバーグが煮崩れてしまいましたが、食べている子供たちに話しかけに行くと、一口サイズにお母さんが切って食べさせていたのをみて、少しホッとしました。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：昼食にお蕎麦（海苔かけ）、夕食に煮込みハンバーグ弁当

提供数：お蕎麦100食、煮込みハンバーグ弁当260食





活動 5 日目、7 月 17 日（月祝）

避難所で提供される食事は、朝、おにぎり、昼、パン、夜、お弁当とパターンが決まっています。「おにぎりはいいけどパンは食べられん」と言っていた年配の女性に冷えた素麺を美味しそうに召し上がっていただき、お昼に凝ったモノ提供出来ない心苦しさが少し和らぎました。

今日からボランティアさんが一気に減ったので「どうなることか!？」と焦っていましたが、地元 YNF のお力添えて 2 名のボランティアに参加したしていただき、地元市議会議員山崎さんにもお手伝いいただきました。

今日の昼食は素麺（さつま揚げ入り）夕食は『チャーハン風ご飯』と『水餃子』です。お昼の素麺を終えて直ぐに準備とりかかりましたが、工程が多く少し手間取り若干遅れてしまいました。でも、避難所で食べてくれた小学生から「美味しくいただきました」と元気に感想聞かせてもらい疲れが吹き飛びました。

令和新撰組の山本太郎代表が避難所を訪問され、我々の炊き出し現場にもご挨拶いただきました。事務局長の「炊き出しの苦労話」「NPO 運営の難しさ」にしっかり目をそらさず 5 分以上話を聞いていただきました。本日のメンバーはピースプロジェクト 3 名、YNF の告知をみて駆けつけてきてくれたボラさんが 2 名、市議会議員議員さん、市の職員の方の 7 名体制でした。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：昼食に素麺（さつま揚げ入り）、夕食、『チャーハン風ご飯』と『水餃子』

提供数：素麺 100 食、『チャーハン風ご飯』と『水餃子』250 食





活動 6 日目、7 月 18 日（火）

本日も晴天&猛暑日となりました。

前日から心配していたボランティアさんも、YNF 江崎さんの発信力により、朝から 5 名の方にご参加いただき、更に昼からは地元市議会議員石田さんのご家族&後援会の方 3 名にも、更に YNF を見たという方が 3 時から 1 名ご参加くださいました。

大阪から車で来られた江崎さんのお仲間 3 人組（中村さんご一行）は「思ったより人手足りてるので他の現場行ってきますわ」と泥かきに行かれるほどのパワー発揮！ぶりでした。

今回の活動では本当に久しぶりに“ふれあい”型の支援に活動する事が出来ました。

体力的には本当に厳しいけれど、被災された方とのふれ合いは“生きる活力”の源になります。

本日のメンバーはピースプロジェクト 3 名、YNF の告知をみて駆けつけてきてくれたボラさんが 6 名、市議会議員議員石田さんと後援会の方 4 名、合計 13 名が入れ替わりながらの体制でした。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：昼食に茶そば、夕食に生とうもろこしご飯（鶏肉&うずら卵のせ）、ミネストローネ

提供数：茶そば 60 食、生とうもろこしご飯（鶏肉&うずら卵のせ）、ミネストローネ 250 食





活動最終日、7月19日（水）

最終日の夕食メニューはピースプロジェクト恒例の『うな井』です。経費は普通の炊き出しの3倍かかりますが、喜んでいただけることを考えるとやめられません。

お昼（茶そば&素麺）を終え、夕食の準備をしていると「うな井は何時から配りますか？」と質問されるくらいの期待値満載(笑)。

避難所である、体育館に『うな井』を持っていくと即座に初回分がなくなるほどの人気ぶりでした。

心配していたボランティアさんも、YNFの発信によりつながった方が入れ替わり来ていただき、夕方から山崎ケビン市議会議員にもご参加いただきました（なんだか今回の炊き出しは市議会議員さんとのご縁が深かった）。

うな井ですが、お子さんのなかには「初めてうなぎを食べた」と言う子もいて、お母さんから「うなぎばっかり食べよー」と笑い声も上がってました。

【活動詳細】

対象：田主丸町竹野地区の在宅避難されている方、竹野小学校に避難されている方、障害者施設『一麦寮』居住されている方

提供物：昼食に茶そばと素麺、夕食に『うな井』

提供数：茶そばと素麺60食、うな井240食

